



下江 一将 議員  
(清流会・かさいを育む会)



## 起業・創業支援と事業拡大の取組み

**問** 起業・創業支援によるこれまでの起業の状況は。

**答** 令和5年度は商工会議所主催の創業塾を13人が受講されました。また、市役所で21人、商工会議所で15人の起業相談があり、うち11人が創業されています。今年度は3人が創業を予定しています。起業支援策として「スタートアップ支援事業補助金」や「空き店舗活用補助金」があり、直近5年の支給実績は、スタートアップ補助金14件、空き店舗補助金27件です。ビジネスグランプリの受賞者が創業された例もあ

ります。空き店舗活用はにぎわいづくりとして有効で、社会福祉事業なども利用があり、多様な業種に対応できていると考えます。

**問** 加西市で起業された方をロールモデルとして事例を広く周知する必要があるのでは。

**答** 6月議会において議員が提案された移住と起業をセットにしたロールモデルを、冊子やウェブ上の両方に掲載してPRし、起業に向けた道しるべを示したいと考えています。また、起業に向けて準備を進めるために、コミュニティ形成も重要であると認識しています。ビジネスグランプリに申込みされた方のコミュニティづくりは、セミナーを開始した段階から進めていきたいと考えます。

**問** 近年、個人事業主として起業される方も多く、その活

動には限りがある。そこで、市内の事業者同士で連携し、新たな事業体や組織をつくる動きが複数ある。事業者同士が連携して事業の拡大を図ることに対する支援を検討してはどうか。

**答** 起業家間の連携については、お互いを補完するための非常に有効な手段であると考えます。連携による相乗効果も考えられます。ただ、連携には様々な形態が考えられ、どのような形態の連携を促進していくのか難しいところです。他市町の先行事例について調査し、効果等も勘案して支援の方向性を研究します。

### ■その他の質問項目

- ・若い世代の声を聞くことについて
- ・加西市体育施設の運営管理について
- ・市内イベントについて



高見 博道 議員  
(令和新風加西)



## 統合小学校は加西市独自の教育体制で

**問** 泉中学校区の統合小学校が、加西中学校区・善防中学校区の統合小学校のモデルケースになっていくと思うが、市全体の説明会において、きめ細やかな教育をしていきますとの説明があった。当然、2クラスで連携が取れる教育も兼ね備えたという話があったと思うが、きめ細やかな教育をしようと思えば、当然、加西市独自の体制を考えないといけないと思う。

泉小学校ではこの4月の始業式が始まって、担任の先生が決まらなかったという事態があった。絶

対そのようなことが今後あってはならない。説明会できめ細やかな体制をやっていきますという話があったが、それに向けて教育長としてどのようにお考えなのか、統合後の予定について問う。

**答** (教育長) 統合小学校については、各学年、2クラスと特別支援学級2クラス程度の規模になるのではないかと考えています。

教員については、当然、県の職員定数によって配置されますが、統合の場合は加配教員というのもあり、統合後一、二年は定員よりも若干多い数が配置できるのではないかと考えています。

1クラスの児童数が全学年20名弱から30名程度になるという見込みですが、泉小学校以外の3小学校の児童のほとんど

は、これまで10名以下、または15名程度のクラスで生活しており、やはり急な環境変化に戸惑う子供たちもいるのではないかと思っています。児童数の多い学級には一定期間は複数担任制を整備し、子供たちをしっかりと見守っていく体制を整備することを検討しています。

今後、児童数や期間などについて制度を構築していく中で、教員数が足りない場合は市費での臨時講師採用等も視野に入れ、予算確保を含めて努力をしていきたいと考えています。

### ■その他の質問項目

- ・加西インター産業団地と周辺について
- ・マイナンバーカードについて